

組込みソフトウェア 設計図フォーラム（第四回）

概要	<p>設計図フォーラムは、設計図を活用することで商品開発の成功と人材の育成の両立を実現するための情報交換の場です。</p> <p>今回は、「アーキテクト活動と設計改善活動の実際」と称して、開発現場でアーキテクトは何をしているのか、設計改善としては何をしているのか、をそれぞれ深掘します。</p> <p>アーキテクト活動としては、アーキテクトはどのような図面を書いて、どのようにリーダーシップを発揮しているのか。そして、アーキテクト活動を継続させるコツは何か、アーキテクト活動を阻害する要因は何か。</p> <p>設計改善活動としては、今のソースコードをどのように改良しているのか、ソースコードを資産化させるための実践や必要な設計スキルとは何か。</p>
日時	<p>2018年7月6日（金）14時～17時10分（13時30分開場）</p> <p style="text-align: center;">懇親会：17時30分～19時30分（いずれも無料）</p>
場所	新横浜国際ホテル マナーハウス4階 ブループラム

■スケジュール

14:00～14:05	開会のあいさつ ビースラッシュ 山田 大介
14:05～14:40 (35分)	アーキテクト活動の理想と現実
	<p>パナソニック株式会社 四反田 秀樹 様</p> <p>アーキテクトを改善したいという話はよく聞きます。理想を求めて設立した「アーキテクトの組織」と、現実の「アーキテクトの活動」のギャップ、そして改善するための「処方箋」についてお話します。</p>
14:40～15:00 (20分)	エンプラ系企業におけるアーキテクト
	<p>ビースラッシュ株式会社 阿部 哲</p> <p>組込みソフトウェア開発現場のアーキテクト活動を支える教育・支援などの業務を経て、エンプラ系企業にて業務システム・会計システム等の開発に関わる様々な活動をアーキテクトと一緒にしてきました。エンプラ系企業におけるアーキテクトの活動についてお話します。</p>
15:00～15:20 (20分)	ソフトウェアの『抽象化』方法論
	<p>久我 雅人 様</p> <p>優れたソフトウェアのアーキテクトが使いこなす道具こそ「抽象化」です。しかし「抽象化」といってもなかなか一筋縄ではいかないようです。そもそも「抽象化」とはどんなことを意味するのか？ 「抽象化」するとソフトウェアは良くなるのか？ なぜ現場では抽象化ができないのか？ 今回は、「抽象化」のポイントを皆さんに紹介します。</p>
15:20～15:35	休憩

15:35~15:55 (20分)	アーキテクチャ中心の設計改善活動
	株式会社デンソー 高谷 広徳 様 アーキテクチャを中心とした設計によってソフト構造を可視化することで、影響範囲の分析がしやすくなることで生産性を向上するだけでなく、チームのコミュニケーションの向上にもつながり、効果的に品質を作りこむことが期待できます。 今回はアーキテクチャ中心の設計改善へどのように取り組んだか、どういった効果があったかを紹介します。
15:55~16:15 (20分)	アーキテクチャ設計によるソフト品質向上
	東海ソフト株式会社 秋谷 勤 様 設計していますか？ アーキテクトとして良いソフトを作るための観点や活動を、設計することで良くなった例とともにご説明します。
16:15~16:35 (20分)	複合機開発における「楽ちん設計技法」
	富士ゼロックス株式会社 大竹 晋 様 本技法の目標は、アーキテクトによる生産性の向上と手戻り未然防止の実現によって、大規模で複雑なソフトウェアを短期に開発することです。さらにアーキテクチャを全体俯瞰できる設計ポイントと、設計書のさらなる活用も解説します。
16:35~16:55 (20分)	IoT時代のシステム開発の失敗と成功の分岐点
	住友重機械工業株式会社 羽角 信義 様 本講演では、約8ヶ月の期間で実施した”実証用IoTシステム”の開発で発生した「要求仕様とプログラムコードのミスマッチ」の事例や、「ソフトウェアアーキテクチャを”中間言語”に用いた工程間の意思疎通」の事例を示しつつ、ソフトウェア開発に有効であった”設計図”を紹介します。
16:55~17:05 (10分)	アーキテクチャ中心開発の勘所 ～IoTシステムの日本的開発技法～
	ビースラッシュ株式会社 山田 大介 アーキテクチャ設計とソースコードを同期させることが、開発現場でアーキテクト活動を継続させる鍵になります。ソースコードからアーキテクチャを作るボトムアップアプローチと簡単な要求記述からアーキテクチャを作るトップダウンアプローチを紹介します。
~17:10	閉会のあいさつ ビースラッシュ 山田 大介

※講演内容と講演者は予告なく変更となる場合がございます